

あつま

議会だより

9月定例会号

No. 137

平成21年10月発行



ししゃもの水揚げ作業 (浜厚真港)

目次	掲載ページ
○委員会活動レポート	
・ 総務文教：発達支援センターの運営状況、上厚真定住者用住宅の状況、各小学校の屋外遊具施設の利用状況並びに耐久度	2
・ 産業建設：サーファーの水洗施設と休憩所、野原公園の管理棟の運用状況、北進平取線の進捗状況	3
○一般質問	
・ 道道直線化の進捗状況、産直施設・加工品開発支援	今村昭一 4
・ 厚幌ダム建設の今後の展開、浜厚真周辺環境整備	井上次男 5
・ 地域医療、保育園の新型インフルエンザに対する行政の対応、宮ノ森保育園の園内敷地整備	木本清登 6
・ フォーラムビレッジ開発計画の進捗状況	三國和江 7
・ 全国学力テストの結果をどう生かすか	木村幸一 8
・ 介護保険認定新基準による影響	米田俊之 9
・ 土地開発公社の必要性、フォーラムビレッジ開発計画の状況、苫小牧厚真通りの実現に対する活動状況、婚活への支援、総合型地域スポーツクラブの必要性	下司義之 10
○議決案件（賛否状況）	11
○臨時議会報告・あとがき	12

概要

総務文教常任委員会

委員会は去る7月30日、事務調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。事務調査3件、現地調査3件より抜粋。

発達支援センターの運営状況

- Q** 現在保育所に障がい児や自閉症を持った子は合わせて何人いるか。
- A** 12人である。
- Q** 保育士に対して、障がい児や自閉症の子の対応について十分な指導を行っているか。
- A** 町の担当者が保育所に向いて研修機会を確保したり、道が行う研修にもできるだけ参加できるようにしている。
- Q** 専門の講師を招いた研修も必要ではないか。
- A** 必要であると思う。なお、現在3人の保育士に4週間程度の研修を受けさせる準備をしている。
- Q** 発達支援センターが社会的に必要な理由は、**A** すべての子に対して、小さい頃からその特徴をしっかりと理解するための支援システムを充実させることにより、反社会的な人間を作らないと言う

ことにおいても必要である。

また、発達支援センターは、発達障害のみならず、子供の個性とか個人を尊重した福祉的な見方を、幼児期に保育所や学校と連携して子供を育てると言う役割もある。

上厚真定住者用住宅の状況

- Q** 安平の定住者用住宅が大した人気だと聞くが
- A** 家賃が1万円と言うことであるが、賛否両論であるように聞いている。
- Q** 上厚真は10月中旬から募集、本郷も12月中旬募集ということだが、家賃はいつ頃決めるか。
- A** なるべく早い時期に決めたい。
- Q** 入居の期間は決めるのか。
- A** ひとつの期間として3年、最長10年を考えている。

各小学校の屋外遊具施設の利用状況並びに耐久度

- Q** 古い屋外遊具は必要か。
- A** 他町同様、傷みの激しいもの、危険性の高いものから撤去していく方針である。
- Q** 今にあった遊具を使いやすい場所に設置した方がよいのではないか。
- A** 改善には相当費用がかかるため今のような状態になっている。子供の成長に必要なものと、片付けていくものの判断が必要になってくると思う。
- Q** 富野と軽舞の閉校を控えているので、利用できるものがあれば他校に活用したいと考えている。
- Q** 学校の遊具であれ、町の公園施設であれ、子供が遊ぶということに対する責任は同じなので、一体的に対応を考えた方がよいのではないか。
- A** 先般、町長と教育長とで本郷小公園の調査も行っており、今後そのように検討していきたいと思う。



上厚真定住者用住宅



中央小学校遊具の状況

委員会活

産業建設常任委員会

質 疑

委員会は去る7月31日、事務調査現地調査を行い、その結果を第3回定例会に報告した。事務調査3件、現地調査3件より抜粋。

サーフィン関連施設の状況

Q 環境衛生公園で見限り、車が70台くらいあった。そこに来ている人をどうにか経済に結びつけられないか。

A 若手職員4人でプロジェクトを組んで、開発計画を練っている。上厚真、厚真市街に誘導する方法を考えた上で、地域の活性化をあらためて考えていかなければならないと思っている。

Q プロジェクトでは、いつ、まとまった答えを出す予定か。

A 第1回目の成果発表方向性、これは今準備をしている段階で、9月はじめに庁内向けの成果発表を予定している。

Q どういう項目で検討していくか。

A 移動形態、何を望んでいるか、300件のアンケートを集めた上で解析を行っていきたいと考えている。



水洗川で利用している上厚真の公衆トイレ



浜厚真野原公園管理棟の現地調査

野原公園管理棟の運用状況

Q めぐみ水産は年間通して営業してもらえるのか。

A 通年でやりたいと言っていたが、採算ベースに合うかどうか。冬場は毎日閉店という可能性はある。

Q 高齢者事業団に委託

しているトイレ等の清掃をめぐみ水産の人に委託してはどうか。

A 店をやりながら片手間の形では、なかなか行き届かないと思う。当面は営業の効果を見ながら今後検討していきたい。

北進平取線の進捗状況

Q 穂別側の進捗はどうなっているか。

A 改良はすべて終わっている。22年度からは道が事業主体となり、舗装は全線、道の事業で行う。

Q 22年度から道が主体になるということで、予算がないからと遅れる懸念はないか。

A 総選挙後の開発予算もどんなふうになるか、財政的な面は国より落ちる可能性はあるかと思うが、強く要請していく。

Q 標高差はどの位になるか。

A 現在のダムの堤体にすり付ける高さになる。トンネルの切りは若干高くなる。

問う！！

9月定例会の一般質問を要約してお知らせします。
詳しく知りたい方は、議会事務局、インターネット上または青少年センター図書室で会議録を閲覧できます。

道道直線化・産直、加工品開発

Q 厚真川改修に併せた、道道直線化の進捗状況は

A 幌内澤田地先までの間、平成24年度目標で進められている

道道直線化の進捗状況

問 厚真川改修に併せた、道道直線化の現段階の進捗状況は。

町長 上幌内停車場線は、厚幌ダムなどの大規模な事業が展開されており、交通量の増加による交通安全の確保が懸念されている。

厚真川改修は、富里地区まで進捗している現在、河川敷地の確定も進んでいることから、本路線の改修を強く要望してきたところである。

現在、特殊改良1種事業により、平成20年度に着工され、朝日神島地先から幌内澤田地先間での間、平成24年度を目標に曲線緩和が予定されている。

本年度は吉野馬場地先の150mが11月下旬発注予定、事業費5、500万円の規模となっている。

なお、山側の急斜面、落石、雪崩等の危険箇所は、別の災害防除事業で進められている。

問 幌内までの早期完成に向けての、今後の促進要望活動は。

町長 道の建設部、厚幌ダム事務所において、平成24年度までの特殊改良1種事業という5カ年の枠の中で、適切に事業展開していきたいとのことである。

24年度目標に向けた予算獲得のため、継続して関係機関に要望していきたい。



今村昭一議員

Q 産直施設に対する考え方と、加工開発の支援は

A 参加しやすい方法を協議する場を作りたい。加工品開発の支援や補助制度についても、さらに町内にPRしていく

産直、加工品開発

問 地場特産の育成に關連して、産直、道の駅的施設の建設に対する現段階の取り組み状況は。

町長 産直に関しては、本州と大規模経営の多い

北海道とは温度差がありそうである。しかし、小規模とか少量多品目経営の方もおり、町内でもいくつかのグループが定期的な実践をされている。

産直に対する消費者、生産者それぞれの期待と、メリット、デメリットがある。JA、生産者、そして既に実践している方々と、参加しやすい方法など種々協議していきたい。その際、販売管理システムや販売曜日の設定等まで詰めたものしていきたい。

問 加工品開発の支援について、大規模な加工品開発の可能性を探るため、成分検査とか、加工品試作調査のため、専門機関に依頼しなければならぬが、それらの面での支援ができるか。

町長 付加価値を高める意味からも、ハスカップ等の加工品開発について支援していきたい。そのため、農・商連携した環境を作り上げていきたい。

加工にあたっての知恵・技術等の先立つ部門については、道立食品加工センターがあり、成分分析、加工技術指導、現地指導等をしてくれるので、積極的活用を進めていきたい。

国の補助では、加工・試作に関しては3分の1補助の農工商連携事業と、製造設備では2分の1補助の食農連携促進施設整備事業がある。

生産者、商業者に声をかけて、連携を強化していきたい。

問 道立食品加工センターの事とか、補助制度のことなど、種々の方法で広く町民に知らせるべきでないか。

町長 既に、町商工会では承知していると思うが、さらに詳しく、生産者などにも積極的にPRしていきたい。

厚幌ダム建設、浜厚真周辺環境整備



井上次男議員

Q 厚幌ダム関連事業の継続を

A 期成会を中心に要請活動を展開していく

厚幌ダムの今後の展開

問 厚幌ダム関連事業は今後どのように展開していくのか。

厚幌ダム建設と関連事業・農業基盤整備事業・国営農業用水再編対策事業は、厚真町において30年、50年後を左右する重要懸案事業である。

政権交代において事業中止等の事態が発生しないように、中央への要請を強力に推進すべきではないか。

町長 厚幌ダム建設事業については町の最重要課題である。政権交代で民主党のマニフェストにおいては不要不急の事業、効果の乏しい事業は政治の責任で凍結、廃止するとされている。

厚幌ダムの事業内容はこれらに該当するものではなく、洪水調整、水道水確保、かんがい用水確保、河川環境の保全等を兼ね備えた多目的ダムである。

基幹産業の農業はもとより厚真町にとって最大の効果をもたらす。

町民の生活が第一という面で、新政府が掲げるマニフェストに合致していると考えている。

今後の厚真町と農業の発展に禍根を残さないよう、事業展開への熱意を十分理解いただくために厚幌ダム建設促進期成会を中心として中央要請活動を展開していく。

問 厚真川河川改修は、もとより水害のない町づくりから始まって、農業政策において厚幌ダムに関連事業とともに完遂しなくてはならない事業である。付随して、頗美宇川の蛇行が強く想定外の大雨等による水害が予想されている。地元が河川改修を要望しているのに、町の事業としてできないか。

町長 厚真川河川改修は、平成22年度には頗美宇川との合流点まで工事が進められる予定となっている。

る。

本流改修により、特に頗美宇川への大規模な水害等の被害を解消できるというのが道の見解である。

しかし万が一の災害が発生したときは、町が事業主体となり公共災害対策復旧事業として対処していく考えである。

Q 浜厚真周辺一帯の環境整備は

A 段階的に整備を進めていきたい

者をも含めた総合的な利活用を思考すべきではないか。

町長 浜厚真地域には、年間を通してサーフィン、野原サッカー場、4輪バギー場等に年間約7万8,000人の利用者が訪れている。

町民には市街地から遠いという地理的な条件から関心が高くないが、浜厚真海岸は町内にある地域資源という視点からは一級品であると思う。一度に大規模な投資をすることは難しいので、段階的な整備をしながら交流人口の増加に結びつけていきたい。



Photo by © SuringReps

問 浜厚真一帯の周辺が何も整備されないまま、売り込みが先行しているが、プロジェクトチームの発想やサーフィン利用

地域医療・宮ノ森保育園の園内敷地整備

Q 地域医療の充実を

A 地元医療機関と連携して、町民の安心・安全を図っていききたい

地域医療の充実

問 我が町は、定住人口増加を目指し、医療体制の充実が必要不可欠である。

また、安心、安全、快適な街づくりのため、多様な試みを検討し、前向きな方向性が必要である。現在の医療体制が満足いくものなのか。地域医療に対する想いと、未来に向けた「地域医療ビジョン」の作成は。

町長 医療体制は地域社会を支える極めて重要なものである。救急医療は、急激な健康悪化に備え磐石でなければならぬ。苦小牧市は充実した医療体制で、本町の場合環境的には恵まれ、都会に住

んでいるのと通院時間の差はない。

近年、医療連携体制の構築を推進するため、東胆振圏域における北海道医療計画東胆振地域推進方針が作成された。医療供給体制の確保を図り、救急医療体制の二次医療では、初期救急医療機関は救急体制の推進を図る。高度専門の治療を要する疾病については、地元の診療所がその橋渡しをする必要もある。

小規模自治体である本町に地域医療の未来像を描くのは難しい課題であるが、地元医療機関と連携して救急搬送体制の整備と保健予防対策の充実を図っていききたい。



木本清登議員

問 保育園の新型インフルエンザに対する行政の対応

保育園は福祉施設なので休園しないのが前提である。

不要な不安等保護者負担は多く、混乱のない休園の可能性を早めに周知し、実情に合う行政の細やかな対応は。

町長 感染者が出た場合、学級閉鎖または臨時休園した保育園において、どうしても保育できない感染していない園児については、各保育園で登園を認める。

この場合、朝夕必ず家庭で検温し、健康状態が普段と変わらない園児に限る。

濃厚接触園児の場合は、

家族が発症した日の翌日から1週間、他園児への感染防止の観点から、登園を控えるよう、全ての保護者に、文書によりご理解とご協力をお願いしている。

宮ノ森保育園の園内敷地整備

問 園内の敷地はあの現状の中で、いままで幼児子供たちの遊び場となっていたことが不思議でない。早急に敷地内整備を実施すべきではないか。

町長 今回、補正予算で、園庭の土の入替にかかる工事費を提案している。その他、芝生化、遊具改修等については緊急性がないということで、これからの課題として検討する。

みんなの町政です 議会を傍聴してみませんか

町議会は、町の予算や身近な問題について話し合う大切な会議の場です。あなたも議会を傍聴してみませんか。

◎次の定例会は9月中旬の予定です。

◎日程など議会の傍聴に関するお問い合わせは

☎ 27 - 2485 議会事務局までお気軽にどうぞ



フォーラムビレッジ開発計画



三國和江議員

Q フォーラムビレッジ開発計画の現状は

A 事業実施のため必要な各手続きを進めている。

フォーラムビレッジ開発計画の進捗状況

問 町内行政視察を行ったフォーラムビレッジ開発計画の、進捗状況を伺いたい。

町長 各関係機関と平成22年度事業着手に向けて協議を進めている。

フォーラムビレッジ造成のための事業費の確保については、住宅市街地基盤整備補助事業の採択を受けるため国と協議をしている。

平成22年度補助1次要望事業費2億1,000万円（うち国費8,400万円）を要望している。

事業実施のための手続きでは、旧都市計画の変更手続きが必要になるが、道との同意協議と、町都市計画審議会を経て、今年10月都市計画決定を予定している。

開発許可の手続きについては、計画地区内に一部埋蔵文化財の包含箇所が確認されているので、

年内に再調査を行い、区域を確定する予定になっている。

この地域は平成22年度事業実施箇所と別な箇所なので、特段の影響はないと考えている。

現時点では事業着手に向け、順調に進捗している。

問 豊沢自治会、用水組合など関係者に対して説明は。

町長 本計画地下流域の関係者との協議は去る7月28日、用水組合関係者に対して第1回目の事業概要説明を実施した。

出席者からは本計画の実施を懸念するような特段の意見などは出されなかった。

今後は自治会全体の説明会を改めて実施する予定になっている。

問 フォーラムビレッジで計画地区内より埋蔵文化財包含箇所が確認されたが、7月3日の町内行政視察の時、町職員からの説明がなかったのはなぜか。

まちづくり推進課長 5月に埋蔵文化財調査を実施し、そのときに計画地区内の一部より埋蔵文化財包含箇所が確認された。事業の責任者としてどのように保護していくか教育委員会からの返事を待っていたので、視察の際は説明しなかった。



フォーラムビレッジ開発計画の現地視察の様子

町民のこえを募集

厚真町議会では、議会を傍聴した感想や「あつま議会だより」を読んだ感想、厚真町議会へのご意見を募集します。

投書について

投書される方は、用紙に自分の名前と電話番号も書いてください。「あつま議会だより」への掲載は、匿名を原則とします。

投書されたご意見・ご要望については、「議会だより」にて、その処理の結果についてお知らせいたします。なお、名前等の記入がない投書については、取り扱わないこともありますので、ご注意ください。

※投書は、FAXでも結構です。

FAX 0145-127-2328

全国学力テスト

Q

全国学力テストの結果をどう生かすのか

A

検討委員会による分析を待つて、これからの方策を考える。



木村幸一議員

問 国費約58億円を投じて実施された、3回目の全国学力テストの結果が公表された。

北海道は、小学6年生が46位、中学3年生が42位と下位だった。

厚真町の成績はどのぐらいの位置にあったのか
教育長 8月27日に結果が発表された。

北海道の状況に付いては、中学校は前回よりも2位ほど上昇したと言うことだが、低い結果となつたことは変わっていないという状況である。

本町での結果について、教育委員会内部では、あくまでも学力の特定の一部を知るものと、学校教育の一面を見ていると言うことで、学力や学習状況等を把握するた

めの有効な情報の一つであると捉えており、公表の範囲については各教科ごとの分析と指導改善のポイント、それと生活習慣や学習環境等に対する質問調査の結果に付いて

しており、数値的な公表は序列化や過度の競争を避けるために行っていないので、ご理解をいただきたい。

問 テストは、自分の学力を知る唯一の手段と私は思うが、公表をしないと言うことだが、テストはそもそも何を目的にして、誰のために行うのか、教育委員会の考えをお聞きたい。

教育長 テストの目的は、教育の充実、指導の改善を学校現場で実施していく、それをあずかる教育

委員会とか、都道府県、又国もいろんな諸制度の中で関わってくるので、その三者が学校教育の充実に向けてそれぞれの立場で充実をはかる事を目的にしている。私共の学校の中にも子供さんには自分の結果をお知らせして全道、全国の数値もお知らせして返している。

数値ではなくて教育指導として、全国で行われていて、その結果がどう反映されているかと言う事を知ることによりそれぞれの地域の学力に対する指導のあり方に反映される。

問 学力テストの結果は公表されないが、三年間のテストの結果が下位の方であったという事だが、その原因がどこにあって

実力が発揮出来なかったのか。

教育長 学力テストの結果の分析はこれからやるので問題の傾向とか正答の状況、誤答の状況と言うことについては、これから検討委員会の中で細かく分析されて出て来ると思う。それを待つてこれからの方策を考えて行くことになると思う。

問 今の生徒達は、義務教育の間は温室の中で教育を受け、終了間際に受験という競争社会の中に出て行く現実を考えたとき、卒業後の競争社会に対応出来るように教育をする必要があるのではないか。

教育長 成長過程の中で各家庭の子供と接する時間が少なくなつて来ているのも事実である。

家庭の愛情が子供に伝わって子供が自立して行くと思うので、家庭教育の充実に取り組んで行かなければならない大きな課題、たと思う。

教科を通じて総合的に社会で自立する人間を育てて行くのが義務教育の目的である。各学校も教職員をあげてその実現に向けて出来る限りの努力をしているが、学校だけでは限界があると分かつて来ているし、地域や家庭の協力も、もつと得なければならぬ。

そのために何をやるかが話題になって来ているので、状況の変化の中、その時の状況を見ながら、家庭、地域、学校の協力関係が仕組めるような活用に結び付けて行きたい。

介護保険認定新基準



米田俊之議員

Q 介護保険認定新基準による影響は

A 介護サービスを受ける方に支障のないよう、対応していく。

介護保険認定新基準による認定状況

問 介護保険を利用するためには、要介護認定を受けなければならない。

その仕組みが今年4月1日から、給付費の切り下げを目的として要介護認定が改悪された。

新認定方式では調査員テキストが全面的に書き換えられ、調査員が判断してきた判断基準を排除し、基本調査は単純な選択で、普段できなくてもその場でできてしまえば「できる」「自立」が選択される。

①介護保険認定新基準で認定状況はどのようになったか。

②新基準による二次判定の状況は。

③経過措置の適用は何人か。

④経過措置後の対応は。

町長 介護認定基準が4月1日をもって見直された。

認定調査員の負担軽減

と各自治体間の調査のばらつきを是正する目的のために行われたが、現実に要介護認定の結果、介護度の変更を生じた件数も多々ある。

現場の混乱が收拾しないで国は従前の要介護度のままにできる経過措置をとった。その後、改めて調査員、審査会の取り扱いに関する修正が行われて10月1日以降改めて介護認定から使用される。**保健福祉課長** ①新基準による更新状況は9月8日までの間で80人であった。

②二次判定の状況は前回介護度と同様が45人、重度に判定された方が15人、軽度に判定された方は13人であった。

③経過措置希望者は65人であった。経過措置の適用は15人で軽度に判定され従来の介護度に戻した方が10人、重度に判定されて従来の介護度に戻した方が5人である。

④経過措置後の対応については、認定調査員テキスト及び審査会テキストが修正され本年10月1日以降の介護認定申請から使用される。

テキストの改訂に伴い、介護認定調査員の研修を9月25日に、東胆振3町介護審査委員の研修を10月3日に行い、審査基準の統一を図る。

問 新規に介護認定を受ける場合には、審査会テキストはどのように修正されたか。

保健福祉課長 新規の方はこの間20人いたが、2006年版の基準で行われるので不利益になった方はいない。

審査テキストは84項目から74項目になった。うち40項目が修正された。10月以降新たな見方で認定調査を行っていく。

問 10月から申請が始まるが介護認定調査員の研修が9月25日、審査基準等の統一が10月3日となっているが間に合うのか。

保健福祉課長 認定審査会は月3回ある。調整しながら審査会にかけていく。
町長 介護認定申請に支障がないよう対応していく。



土地開発公社・フォーラムビレッジ・苦小牧厚真通り・婚活・地域スポーツクラブ

Q

土地開発公社の必要性を
検討すべき

A

まだ議論する時期で
はない

土地開発公社

問 土地開発公社は土地高騰という前提が有って先行取得するものであるが、土地価格が落ち着いている現在、公社は不要になったと思うが。

町長 一般論としては、必要無い時代だと思うが、厚真町土地開発公社は、すでに宅地分譲しているところもあるし、これから先、適時に公共用地を先行取得することが無いとも言えない。今現在早々に存廃を議論する時期ではないと思う。

フォーラムビレッジ
開発計画の状況

問 フォーラムビレッジ開発計画の推進に当たっ

ての組織は、どのように
なっているか。

町長 まちづくり推進課が中心になって事業を展開している。

問 町としては非常に大きな事業だと思う。役場に横断的な組織を作って対応しなくて良いか。

町長 プロジェクトチームのような横断的な組織を立ち上げて、この事業を展開する考えは今のところない。

問 どのようなまち（エリア）を造ろうとしているか。

町長 当地の売りは自然環境であり、その環境がそのままに提供するのが一番だと思っている。最低限の道路と調整池等を設け、森林等に手入れ

をするだけで分譲する考
えである。

問 収支計画はどのよう
になっているか。

町長 詳細な収支計画はまだ説明できるような状況ではないが、ルーラルビレッジ並みの販売価格を設定すると、4分の3の販売で収支が合う。

苦小牧厚真通りの実
現に対する活動状況

問 昨年の第3回定例会
において、町長は、要請活動を繰り返す旨の答弁
をしている。それから一
年、どのような活動がされ
たか。

町長 町としては、道道に昇格して整備をしていた。だきたいと思っている。昨年からの要望活動とし



下司義之議員

ては、苦小牧地方総合開発期成会の要望案件として取り上げていただきたいという要請を行った。道の建設部長に口頭で要望し苦小牧市の関係課長、室蘭土木現業所にあためて要望をした。

苦小牧地方総合開発期成会からの要望書に盛り込んで、国、道へ提出していただいたが、今後の見通しとしては、なかなか難しいと思っている。

婚活への支援

問 結婚するための活動
に対して自治体としても
支援活動する必要がある
のではないか。

町長 農業後継者対策として以前は100万円ぐ
らいの予算を組んでいた
が、あまり効果が上がら
ないということで、現在
は農協青年部の活動に対
して10万円程度の助成を
している。

問 最近では自治体が直接
事業を行うこともあるよ
うだが。

町長 町が直接音頭をとってというよりは、農協や商工会の青年部、職場団体などの活動への支援や、各団体に声をかけて大きなイベント等を企画していくことは可能だと思ふ。

総合型地域スポーツ
クラブの必要性

問 町教委の教育計画の
中で検討すると書いてあ
るが、現在どのようにな
っているか。

教育長 国の計画に基づいて、町教委の教育計画の中でも取り組みを謳っている。実際設置に向けて具体的な活動は行っていないが、少子化に伴い、子供のスポーツ機会が失われている状況にもある。今後関係団体と話し合っ、よい方法を考えていきたい。

9月定例議会・臨時議会の議決案件（賛否状況）

平成21年7月22日（水）（臨時議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
議案第1号	本郷特定公共賃貸住宅建築工事請負契約の締結	賛成全員
議案第2号	物品の取得	賛成全員
議案第3号	平成21年度厚真町一般会計補正予算（第5号）	賛成全員

平成21年9月17日（木）～9月18日（金）（定例議会）

議案番号	議 件 名	賛 否
同意第1号	厚真町教育委員会委員の任命	賛成全員 (無記名投票)
議案第1号	厚真町課設置条例の一部改正	賛成全員
議案第2号	厚真町防災会議条例の一部改正	賛成全員
議案第3号	厚真町国民保護協議会条例の一部改正	賛成全員
議案第4号	厚真町国民健康保険条例の一部改正	賛成全員
議案第5号	字の区域の変更	賛成全員
議案第6号	町道路線の変更	賛成全員
議案第7号	町道路線の変更	賛成全員
議案第8号	北海道市町村総合事務組合理約の一部変更	賛成全員
議案第9号	北海道市町村職員退職手当組合理約の一部変更	賛成全員
議案第10号	北海道町村議会議員公務災害補償等組合理約の一部変更	賛成全員
議案第11号	平成21年度厚真町一般会計補正予算（第7号）	賛成全員
議案第12号	平成21年度厚真町国民健康保険事業特別会計補正予算（第3号）	賛成全員
議案第13号	平成21年度厚真町介護保険事業特別会計補正予算（介護サービス事業勘定補正予算（第3号））	賛成全員
議案第14号	平成21年度厚真町簡易水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
議案第15号	平成21年度厚真町公共下水道事業特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
承認第1号	平成21年度厚真町一般会計補正予算（第6号）	賛成全員
承認第2号	平成21年度厚真町老人保健特別会計補正予算（第2号）	賛成全員
意見書案第1号	道路の整備に関する意見書 (反対者1名) 米田議員	賛成多数

第6回臨時会

7月22日開会

■本郷特定公共賃貸住宅 建築工事請負契約の締結

- ・契約方法
指名競争入札
- ・契約金額
1億5、120万円
- ・契約の相手方
矢部・武山経常建設
共同企業体

■物品の取得

- ・物品の名称
住民記録システム
- ・取得の方法
随意契約
- ・取得金額
6、380万3、7
75円
- ・取得の相手方
北海道市町村備荒資
金組合

■一般会計補正予算

地域活性化・経済危機
対策臨時交付金事業とし
て防犯灯等整備事業、生
活応援商品券事業、町道
整備事業、学校通信整備
事業など1億775万2
千円が追加され、予算総
額は52億3、974万1
千円になりました。

10月1日～2日
胆振管内議員研修会
の様相
(於、壮瞥町)



議会のうごき

- 8 月
18日・議会広報研修会 (札幌市)
- 9 月
11日・議会運営委員会
17～18日・平成21年第3回定例議会
議会広報特別委員会
- 10 月
1～2日・管内議員研修会
5日・議会広報特別委員会
19日・議会広報特別委員会
27日・総務文教常任委員会
29日・産業建設常任委員会

あと
がき



いよいよ、収穫の秋で
す。我が街の農産物の収
穫はどうなのか？なかな
か明るい声が聞こえて来
ません。

政権が変わり一次産業
の所得補償の話題も聞こ
えています。とても長
い道程のようです。

厚真町は山菜から始ま

り農作物、海産物、何で
も、全国どのブランド
物産品よりもおいしく、
一年中、旬のものが口に
入るすばらしいまちです。
このすばらしさを、み
んなで自覚して、定住人
口増をめざし、未来を担
う子供達のため、足あと
一つひとつを大切に行動
していきます。

広報委員 木本 清登